

2023.7.20 中央最低賃金審議会 目安小委員会 航空会館2Fにて

15:00～ 頭どり 傍聴席 前回同様 25席程度 満員

開始 会長から 労働側伊藤委員1時間後に

事務局 補足資料説明 第1回資料の国内物価指数 5.1%→4.1%

輸入物価指数 国内企業物価指数など

会長 前回小委員会 基本的な考え方を労使委員から発言を要約する。異議追加あれば発言を。」

- ・労働側委員の主張
- ・最賃法第1条の目的に照らして
- ・デフレマインドからの脱却 今春闘の成果をいかすこと
- ・2000時間働いても200万円以下の現状
- ・物価上昇 消費者物価指数は電気・ガス対策で1%ダウンしているが10月には打ち切り予定
- ・実質賃金低下 の状況
- ・労働力人口減少 人材確保が課題、人材不足の中小こそ最賃アップが
- ・地方 特にBCランクでの格差是正が課題
- ・環境整備が必要。

使用者側意見

- ・国内企業物価の上昇
- ・00融資のしはらいなど倒産増加
- ・中小企業は無理して賃上げをしている実態にある
- ・廃業・倒産増加懸念
- ・強行法
- ・目安ランク変更、地域格差是正必要は認識
- ・価格転嫁・生産性向上必要
- ・第4表重視する 10/1にとらわれず。

15:15 会長 この後は公・使会議から。

労働者委員退席

19:10 再開 三者全体で

傍聴者 10人？ ほとんど9階にいた人。さらに3人で12人に。

会長：第2回目の全体会議 個別に意見聞き調整してきたがとりまとめは次回に

消費者物価指数、改定後も高騰、次回資料として昨年決定後の伸び率資料を作成・提出してもらう

事務局 傍聴者から退出を。

と終了しました。

その後、マスコミの人たちが委員の出待ちしているのに遭遇。一部報道にある47円、Cランクも900円以上にあげる、と労働側が主張している、というのを聞き出していました。